

平成26年度北陸地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会の議事概要について

日 時 平成27年3月9日(月) 14:00～16:00

場 所 北陸地方整備局 4階共用会議室

出席委員

委員長	伊津 良治	弁護士
委員長代理	馬場 健	新潟大学法学部副学部長 教授
委員	雨宮 洋美	富山大学 経済学部 准教授
委員	平 哲也	弁護士
委員	山崎 真	公認会計士

議事概要

1. 議 事

- 1) 平成26年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画の取組状況について
- 2) 平成27年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画(案)について

2. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>1) 平成26年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画の取組状況について</p> <p>・コンプライアンスミーティングのテーマは、事務局でいくつか用意してその中から選ぶのか。</p> <p>マンネリ化防止が重要であり、具体的な事例を取り上げるよう工夫してはどうか。</p> <p>・弁護士倫理の講習でも、一般的な規程の解説だけでは、どこまでが駄目でどこからが良いのかを修得できない。</p> <p>ギリギリの具体的なケースを考えて作ってはどうか。</p>	<p>・事務局では、過去に行われたテーマの紹介のみであり、各所属で新聞等を参考にして独自に工夫して設定している。</p> <p>具体例を取り上げることは、今後、一層工夫をこらしながら、取り組んでいきたい。</p>

意見・質問	回 答
<p>・コンプライアンスに関する講座等の受講状況は、個人別に把握しているのか。 受講率 100 %を目指すのであれば、もっと徹底しても良いのではないか。</p> <p>・2月現在と今回（3月9日）を比べると、講座の受講者数が100人以上増えている。継続性ということを考えれば、講座の時期を年度末の忙しい時期ではなく、もう少し分散してはどうか。</p> <p>・セルフチェックの実施結果において、発注事務の範囲という基本的な問いに対して、間違いが多いのが気になる。</p>	<p>・受講状況は、事務所において個人別に把握している。 講座等の受講率を確保するため、コンプライアンス指導員による講習を2度3度と行っている事務所もあるなど、各事務所とも工夫しながら取組を行っている。</p> <p>・来年度の発注者綱紀保持規程の出前講座等において、留意点として説明してまいりたい。</p>
<p>2) 平成27年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画（案）について</p> <p>・職員の取組と同時に、業界団体に対する啓発活動も積極的に行い浸透させないと、事業者等との応接ルールの徹底は、図られないのではないか。</p> <p>・関係団体に対し、講習会や説明の場を設けることは難しいのか。 事業者には直接指導できる機会が必要ではないか。</p>	<p>・関係団体に協力要請を行った際には、業界団体としても、コンプライアンスには非常に力を入れていると聞いている。 今後も、浸透させるよう努力していきたい。</p> <p>・関係団体とは意見交換の場もあるので、コンプライアンスについて話題とすることも検討したい。</p>